

本年もよろしく

お願いいたします



岩手県職員労働組合
役員一同



1月1日号 (号外)

2019年1月1日 発行

発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む



「組合員総結集で大躍進の亥年に」



中央執行委員長
小野 演彦

組合員の皆さん、明けましておめでとうございませう。新年を迎え、皆様にとって平穏で心安らげる1年となるようお祈りいたします。皆さんは、今年1年間の抱負をどのように抱いて新年を迎えたいでしょうか。

昨年同様賃金・労働条件改善に全力を挙げる1年となりました。退職手当引下げ阻止に始まり、秋には5年連続賃上げ、諸手当改善実現に向け粘り強い取り組みを続けてきました。その結果、昨年度末退職者への手当引下げ阻止や給与改定を実現させましたが、手当改善など多くが継続課題となりました。一方、昨年は普及、土木等の職域において、職場実態討論を経て、要求書作成・主管室課交渉を実施し、獣医師では来年度から初任給引上げを実現させるなど、職域での運動構築が実現できました。実感できる改善に向け本部・支部・評議会一体となって展開し、賃金・労働条件改善と組織強化・拡大に取り組みしていきます。

当局は次期総合計画の策定を進め、「幸福」をテーマに県政運営を行うとしています。しかし、人員不足が続く、多くの職場で加重労働となっています。更にはハラスメントに悩む組合員も後を絶たず、職員が安心して働ける職場環境とは程遠いといえます。当局責任で職員の「幸福」を実現させなければなりません。そのためにも、職場要求として声に出し、訴え続けなければ何も変わりません。その力量を高めるためにも組織拡大が不可欠です。新年度も昨年並みの新採用職員が配属されますので、組合員一人ひとりが意識して加入促進に取り組みしましょう。

『亥年』は政治を取り戻す年です。安倍政権下での違憲かつ国民軽視の政治が長期化し、いよいよ改憲議論が佳境を迎えています。安倍政権の横暴を許さず憲法を暮らしに活かす政治への転換に向けた年となります。来る参議院議員選挙・県議会議員選挙等の自治体選挙では、県職労推薦候補者の必勝に向けて取り組みを強化していきます。

運動前進には全組合員の総結集が不可欠です。私たちに様々な困難が立ちまはるからこそ、組合員どうしがお互いを支え合い、固い団結で運動前進に突き進む1年にしていきたいでしょう。今年1年組合員の皆さんの御協力をよろしくお願いします。

あらゆる運動から組織拡大に突き進もう!

- 中央執行委員長 小野 演彦 (盛岡支部・畜産研究所分会)
- 副中央執行委員長 小原 大 (盛岡支部・農村整備室分会)
- 副中央執行委員長 大崎 勝弘 (県庁支部・森林保全課分会)
- 書記 長 小澤 豊和 (県庁支部・資源循環推進課分会)
- 書記 次長 佐々木 辰治 (県庁支部・建築住宅課分会)
- 中央執行委員 中川 理恵 (胆江支部・農政部分会)
- 中央執行委員 和野 樹史 (県庁支部・保健福祉企画室分会)
- 中央執行委員 加藤 邦庸 (盛岡支部・産業技術短期大学校分会)
- 中央執行委員 上野 由克 (盛岡支部・畜産研究所分会)
- 中央執行委員 千葉 守 (北上支部中央農業改良普及センター分会)
- 中央執行委員 口 岩 喜幸 (盛岡支部・土木部分会)
- 中央執行委員 熊谷 勝文 (宮古支部・県税室分会)
- 中央執行委員 菊池 圭 (盛岡支部・環境保健センター分会)
- 中央執行委員 佐藤 拓 (関支部・保健福祉環境センター分会)
- 中央執行委員 藤村 秀樹 (県庁支部・廃棄物特別対策室分会)
- 県庁支部長 佐々木 琢磨 (産業経済交流課分会)
- 盛岡支部長 伊藤 貢 (盛岡広域振興局県税部分会)
- 花巻支部長 伊藤 雅敏 (盛岡広域振興局土木セクター分会)
- 北上支部長 岩崎 竹史 (県立農業大学校分会)
- 胆江支部長 沼英 友 (県南広域振興局土木部分会)
- 一関支部長 佐々木 知正 (県南広域振興局両農林振興センター分会)
- 気仙支部長 小原 将貴 (沿岸広域振興局大船渡地域振興センター分会)
- 釜石支部長 小野寺 光文 (沿岸広域振興局水産部分会)
- 宮古支部長 小笠原 靖 (宮古児童相談所分会)
- 久慈支部長 藤本 勝彦 (県北広域振興局水産部分会)
- 二戸支部長 中村 康之 (県北広域振興局三陸林業センター林務室分会)

亥年の出来事

ふりかえる「亥年」

「亥(いのしし)」は、猪肉の栄養価が高く病氣予防になることから、無病息災の象徴とされています。風水でも、目標に向かって猛進し人を助ける「火の神の化身」とされています。

また、「亥年」は、春は統一自治体選挙があり、夏は参議院選挙があるという選挙の年です。統一自治体選挙が4年ごと、参議院選挙は3年ごとなので、2つが重なる12年にあたるのが亥年なのです。さて、最近の亥年はどんな出来事があったのか、振り返ってみましょう。



1983年

(昭和58年)



▲人事院勧告の早期完全実施を求めて公務員共闘の10.7統一行動(2時間ストを打ち抜く)



▲83国民春闘で「82人勧完全凍結解除」「83人勧完全実施」を求める県庁前集会(700人が結集)

県職員の賃金が全国最下位という状況の下、労働基本権制約の代償措置である人勧の完全実施を求める大衆闘争を果敢に打ち抜いた年であった。以降ストライキは実施されていない。

82年に人事院勧告が完全凍結された中、10月に出された県人事委員会勧告の取り扱いを巡り、地公共闘は2月に中村直知事と交渉を実施した。知事は、厳しい

財政事情や他県の動向等を口実に、完全実施は困難として凍結を提案し、組合側はこの提案を拒否した。

3月には人事委員会に対し再勧告、完全実施の意見書を提出するよう措置要求したものの「勧告は法的拘束力を持たない」と措置要求を棄却した。

春闘期、82人勧凍結の撤回と83人勧完全実施を柱とする方針を掲げ、4月の当局交渉では、30分時間内くい込み県庁前総決起集会を開催、700名が結集し、要求の押し上げを図った。

確定闘争期は、2年連続の凍結や値切りを許さず、82人勧の凍結解除と2年分の

95春闘と長年の悲願だった組織内県議を両立しての統一自治体選挙でスタートし、多くの課題を抱えながらも「寒冷地手当の削減改善」を阻止しつつ、史上最底の人事院勧告を受けて戦い、厳しいなかでも一定の前進を勝ち取ることができた年であった。

選挙では、盛岡市議で活躍していた「いさわ昌弘」氏を擁立し、初の県議席獲得と更なる労働環境の改善を勝ち取ることをめざした。

1995年

(平成7年)

いさわ氏の立候補に際して、2月に総決起集会を開催し、約700名が結集した。「知名度」不足と連立政権をめぐる逆風の中、地道な活動から支持を広げ、大激戦の盛岡選挙区で、見事当選を果たした。

前年に発生した「阪神大震災」や、「円高」等厳しい情勢のなか、人事院勧告は3年連続での一時金の削減勧告が想定された。寒冷地手当にあっては支給水準を半額にし、分割支給とする方向性を打ち出したものの、全国的な取組の成果もあり、勧告の中で「見送り」とさせた。

4月の人事課長着任交渉で「課題は職場により中身が違ふと思うので、これから勉強していきたい」とい

のペースアップを求める闘いとなった。

9月には各支部で早朝時間外集会を開催、10月7日の勧告日には、3年ぶりと

なる2時間ストライキを決定し、県庁・盛岡・滝沢の3支部では合同中央集会を開催

10月の交渉では、現業職員の賃金改善、欠員補充は「検討に時間が欲しい」等ゼロ回答でもの別れとなり、当局に怒りの声が上がった。最終的に、11月の交渉において、通勤手当引き上げ、技能職等給料表に行政職給料表6級を付加し新7級を創設、結婚休暇の改善、非常勤専門職員の特別休暇等、一定の成果を上げた。

出来事

- 阪神淡路大震災● 地下鉄サリン事件「あ言えば上祐」が流行● WINDOWSが

を越え、基本60分、事情のある場合は45分の選択可とする提案がされた。

4月に実施された統一自治体選挙では達増知事が初当選した。県職労では組織内県議の伊沢昌弘さんの4選をめざし必死に闘ったが議席確保には至らず、極めて残念な結果となった。

6月には達増知事と初めて交渉を実施。労使関係の基本姿勢と、過去の不当処分について認識を確認し、



▲賃金3大改善白紙撤回を迫る佐藤中央執行委員長



▲交渉支援の県庁内座り込み

分について認識を確認し、労働委員会事案の取り下げ手続を判断した。

7月の参議院議員選挙には、県職労出身の伊沢昌弘さんを推薦し取り組んだが議席には届かなかった。

8月には自治労第79回定期大会が岩手産業文化センター「アピオ」で開催され、事前大会も含め全国から2万人の仲間が結集し、熱い議論が交わされた。

この年の確定闘争で、当局は、財政難を口実に、県人勧プラス改定先送り、行(一)6級廃止を含む現業賃金の大幅改善、翌年から

の独自の賃金カット導入の賃金3大改善を提案。前代未聞の大幅改革阻止に向け取り組みを強化、11月に県地公共闘は県庁座り込みを配置し、導入阻止を迫った結果、12月議会提案を阻止し、越年課題とさせた。

出来事

- 東京ミッドタウン● 八王子王子● 第1回東京マラソン● 郵政民営化

新春を迎え、2019年が皆様方にとって明るく実りの多い年となりますようお祈り申し上げます。今年も政治決戦の年です。国民を蔑ろにする安倍政権にNO!を突きつけましょう。今年も、皆様方の声を県政に反映させるため、力を尽くしてまいりますので、より一層のご支持ご支援をよろしくお願い申し上げます。

組合員の皆様にはご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、安倍自公政権の下、安税法や労働関連法の改正、公務への会計年度任用職員制度導入、外国人労働者の拡大、水道事業民営化など、世界で一番企業が活躍しやすい国づくりが進んでいます。労働者のための政治をめざし、共に頑張りましょう。

岩手県議会議員
(自治労県本部組織内)
佐藤ケイ子

岩手県議会議員
(社会民主党)
小西 和子

二戸市議会議員
(社会民主党)
鈴木 忠幸

あけましておめでとうございます